

学力検査問題

国語

注意

- 一 指示があるまでは、検査問題を開いてはいけません。
- 二 検査問題は表紙を除いて七ページで、問題は  から  まであります。
- 三 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。
- 四 字数を指示した解答については、句読点、かぎ（「」）なども一字に数えなさい。

一

次の①～⑩の傍線部について、漢字は平仮名に、片仮名は漢字に改めなさい。

- ① 何事にも懸命に努力する。
- ② 住民に協力を要請する。
- ③ タオルを水に浸す。
- ④ スポンの裾を上げる。
- ⑤ 打球の軌跡が弧を描く。
- ⑥ 食後に食器をアラう。
- ⑦ 紅茶にサトウを入れる。
- ⑧ バスのウンチンを支払う。
- ⑨ 富士山にトウチヨウする。
- ⑩ 趣味に時間をツイやす。

二

著作権保護の観点に基づき、  
掲載を差し控えさせていただきます。

著作権保護の観点に基づき、  
掲載を差し控えさせていただきます。

著作権保護の観点に基づき、  
掲載を差し控えさせていただきます。

著作権保護の観点に基づき、  
掲載を差し控えさせていただきます。

著作権保護の観点に基づき、  
掲載を差し控えさせていただきます。

四

次の文章は、漢文を書き下し文にしたものである。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、問いの都合上、漢文(原文)のままの部分がある。

宋人<sup>そうじん</sup>に玉を得たる者有り。諸<sup>しよ</sup>を司城<sup>しじやう</sup>子罕<sup>しかん</sup>に献<sup>けん</sup>ず。  
(宝石を手に入れた) (司城の子罕に献上した)

子罕<sup>しかん</sup>受<sup>う</sup>け<sup>け</sup>ず。玉を献<sup>けん</sup>ずる者<sup>しや</sup>曰<sup>いは</sup>く、  
(受け取らなかった) (言った)

「以<sup>い</sup>示<sup>し</sup>玉<sup>ぎよく</sup>人<sup>にん</sup>、玉人以<sup>い</sup>つて宝<sup>たから</sup>と為<sup>な</sup>す。  
(これを宝石を磨く職人に見せたところ) (宝石と認めました)

故<sup>ゆ</sup>に敢<sup>あ</sup>へて之<sup>これ</sup>を献<sup>けん</sup>ず。」と。子罕曰<sup>いは</sup>く、  
(だから思い切って)

「我<sup>われ</sup>は貪<sup>むさぼ</sup>らざるを以<sup>い</sup>つて宝<sup>たから</sup>と為<sup>な</sup>す。爾<sup>なんぢ</sup>は玉を以<sup>い</sup>つて宝<sup>たから</sup>と為<sup>な</sup>す。  
(私は欲張らないことを宝としている) (あなたは玉を以つて宝としている)

若<sup>も</sup>し我<sup>われ</sup>に与<sup>よ</sup>ふれば、皆<sup>みな</sup>宝<sup>たから</sup>を喪<sup>うしな</sup>ふなり。人<sup>ひと</sup>ごとに其<sup>その</sup>の宝<sup>たから</sup>を  
(もしそれを私にくれたら、どちらも宝を失うことになる) (人それぞれが)

有<sup>あ</sup>つに若<sup>し</sup>か<sup>ず</sup>。」と。  
(持っているのに越したことはない)

故に宋国の長者<sup>ちやうじや</sup>曰く、「子罕<sup>しかん</sup>は宝<sup>たから</sup>を無<sup>な</sup>みするに非<sup>あら</sup>ざるなり。  
(子罕は宝を無視しているわけではない)

宝とする所の者異なるなり。」と。  
(宝とするものが他の人と異なっているのだ)

(注) 宋人<sup>そうじん</sup> 宋の国の人。 玉<sup>ぎよく</sup> 宝石の総称。

司城<sup>しじやう</sup> 古代中国の役職名。 子罕<sup>しかん</sup> 人名。

玉人<sup>ぎよくにん</sup> 宝石を磨く職人。 長者<sup>ちやうじや</sup> 老人。

問一 子罕<sup>しかん</sup>受<sup>う</sup>け<sup>け</sup>ず とあるが、子罕<sup>しかん</sup>が宝石を受け取らなかった理由を宋人はどのように考えたか。最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 宋人は、子罕<sup>しかん</sup>が献上された宝石は偽物ではないかと疑っていると考えた。

イ 宋人は、子罕<sup>しかん</sup>が賄賂を受け取ることで罰せられることを恐れていると考えた。

ウ 宋人は、子罕<sup>しかん</sup>が喜びのあまり動くことができなくなっていると考えた。

エ 宋人は、子罕<sup>しかん</sup>がさらに宝石が献上されることを期待していると考えた。

問二 以<sup>い</sup>示<sup>し</sup>玉<sup>ぎよく</sup>人<sup>にん</sup> は、「以<sup>い</sup>つて玉人<sup>ぎよくにん</sup>に示<sup>し</sup>す」と読む。このように読むことができるように返り点と送り仮名を付けたものはどれか。適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

- ア 以<sup>ツテ</sup>示<sup>スニ</sup> 玉<sup>ニ</sup> 人<sup>ニ</sup>      イ 以<sup>ツテ</sup>示<sup>スニ</sup> 玉<sup>ニ</sup> 人<sup>ニ</sup>
- ウ 以<sup>ツテ</sup>示<sup>スニ</sup> 玉<sup>ニ</sup> 人<sup>ニ</sup>      エ 以<sup>ツテ</sup>示<sup>スニ</sup> 玉<sup>ニ</sup> 人<sup>ニ</sup>

問三 子罕は宝を無みするに非ざるなり とあるが、次の

内の文は、宋国の長者の考えをまとめた一例である。

I、II に入る適切な言葉を、それぞれ現代語で書きなさい。ただし、字数は I、II にそれぞれ示した字数とする。

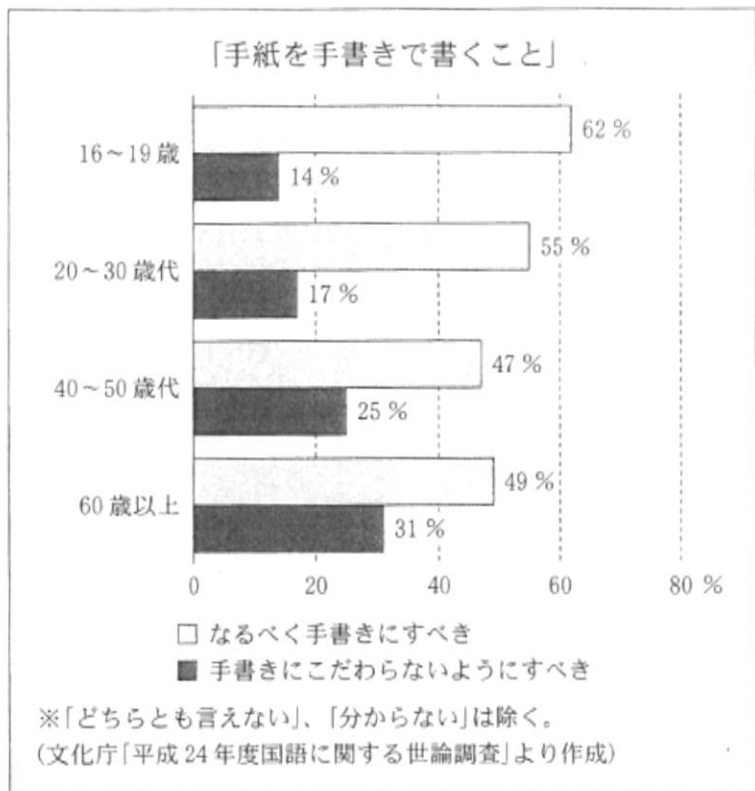
子罕は I(二字) を宝として大切にしているのではなく、必要以上に II(五字) 生き方を大切にしている。

五

下のグラフは「手紙を手書きで書くこと」についての調査で、今後、手紙(封書やはがき)について手書きで書くべきか、手書きにはこだわらないようにすべきかを尋ねた結果をもとに作成したものである。このグラフを見て、後の問いに答えなさい。ただし、内の《注意》に従うこと。

問一 下のグラフの「手書きにこだわらないようにすべき」と回答した年代別の割合の変化について、分かることを書きなさい。

問二 手紙を手書きで書くということについて、あなたは、どのように思うか。あなたの考えを書きなさい。段落構成は二段落構成とし、第一段落ではあなたの考えを、第二段落ではそのように考えた理由を、具体的な例、あるいはグラフの結果を活用して書きなさい。



《注意》

- (一) 題名や氏名は書かないこと。
- (二) 書き出しや段落の初めは一字下げること。
- (三) 問一は二行以上三行以内、問二は六行以上九行以内で、それぞれ縦書きで書くこと。
- (四) グラフの数値を記入する場合は、左の例にならうこと。

(例) 百%  
二十%  
三十一%

学 力 検 査 問 題

数 学

注 意

- 1 指示があるまでは、検査問題を開いてはいけません。
- 2 検査問題は表紙を除いて6ページで、問題は  から  まであります。
- 3 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。
- 4 答えに根号が含まれる場合は、根号を用いて書きなさい。

1 次の(1)~(6)の問いに答えなさい。

(1)  $10 - 4^2$  を計算しなさい。

(2)  $4(2a + b) - 2(a - 3b)$  を計算しなさい。

(3)  $x = \sqrt{2} + 3$  のときの、式  $x^2 - 6x + 9$  の値を求めなさい。

(4) ある養殖池にいるアユの数を推定するために、その養殖池で47匹のアユを捕獲し、その全部に目印をつけて戻した。数日後に同じ養殖池で27匹のアユを捕獲したところ、目印のついたアユが3匹いた。この養殖池にいるアユの数を推定し、十の位までの概数で求めなさい。

(5) 関数  $y = 4x + 5$  について述べた文として正しいものを、次のア～エの中から全て選び、符号で書きなさい。

ア グラフは点(4, 5)を通る。

イ グラフは右上がりの直線である。

ウ  $x$  の値が  $-2$  から  $1$  まで増加するときの  $y$  の増加量は  $4$  である。

エ グラフは、 $y = 4x$  のグラフを、 $y$  軸の正の向きに  $5$  だけ平行移動させたものである。

(6) 直線  $l$  上の点  $A$  を通り、直線  $l$  に垂直な直線を、定規とコンパスを使って作図しなさい。なお、作図に用いた線は消さずに残しなさい。

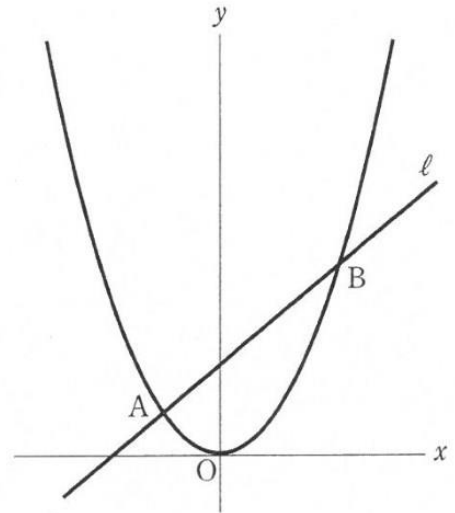




- 2 右の図のように、関数  $y = ax^2$  のグラフと直線  $l$  が、2点 A, B で交わっている。A の座標は  $(-1, 2)$  で、B の  $x$  座標は 2 である。

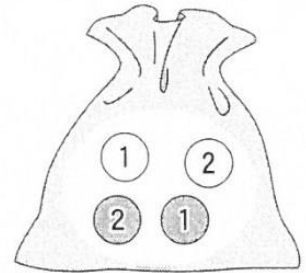
次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

- (1)  $a$  の値を求めなさい。
- (2) 直線  $l$  の式を求めなさい。
- (3)  $\triangle AOB$  の面積を求めなさい。



- 3 右の図のように、袋の中に、赤玉 2 個と白玉 2 個が入っている。それぞれの色の玉には、1, 2 の数字が 1 つずつ書かれている。玉をかき混ぜてから 1 個取り出し、それを袋に戻してかき混ぜ、また 1 個取り出すとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

- (1) 2 回とも白玉が出る確率を求めなさい。
- (2) 2 回とも同じ色の玉が出る確率を求めなさい。
- (3) 1 回目と 2 回目で、色も数字も異なる玉が出る確率を求めなさい。



- 4 ある工場では、機械 A と機械 B をそれぞれ 1 台ずつ使って、製品 P と製品 Q を作っている。それぞれの機械は、どちらの製品も作ることができるが、両方の製品を同時に作ることはできない。

A を使って Q だけを作ると、P だけを作るときに比べて、1 時間に作ることができる製品の個数は 2 割多い。また、B を使って Q だけを作ると、P だけを作るときに比べて、1 時間に作ることができる製品の個数は 1 割少ない。

A と B の両方を使って、P だけを作ると 1 時間に 55 個でき、Q だけを作ると 1 時間に 57 個できる。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) A と B のうち、どちらか 1 台を使って 1 時間に作ることができる製品の個数を、太郎さんは次のように求めた。アには  $x$  を使った式を、イには  $y$  を使った式を、ウ～カには数を、それぞれ当てはまるように書きなさい。

A を使って 1 時間に作ることができる製品の個数について、P だけを作るときを  $x$  個とすると、Q だけを作るときは 2 割多いので  個と表すことができる。

また、B を使って 1 時間に作ることができる製品の個数について、P だけを作るときを  $y$  個とすると、Q だけを作るときは 1 割少ないので  個と表すことができる。

1 時間に作ることができる製品の個数から連立方程式をつくると、

$$\begin{cases} x + y = 55 \\ \text{ア} + \text{イ} = 57 \end{cases}$$

となる。これを解くと、 $x = \text{ウ}$ 、 $y = \text{エ}$  となる。

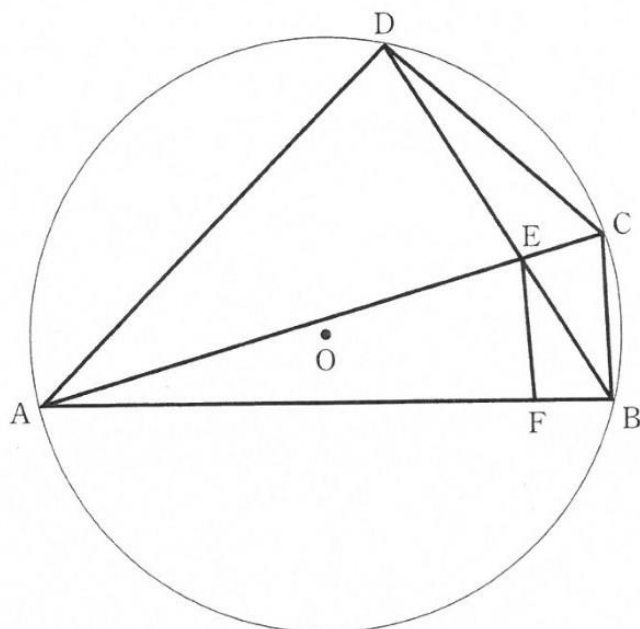
よって、A と B のうち、どちらか 1 台を使って 1 時間に作ることができる製品の個数は、下の表のようになる。

	A	B
P だけを作るとき(個)	<input type="text" value="ウ"/>	<input type="text" value="エ"/>
Q だけを作るとき(個)	<input type="text" value="オ"/>	<input type="text" value="カ"/>

- (2) 別の工場では、A と B をそれぞれ複数台使って、Q だけを 1 時間に 600 個作っている。このとき、A の台数を全て求めなさい。

5

下の図のように、四角形  $ABCD$  の4つの頂点  $A, B, C, D$  が円  $O$  の周上にある。線分  $AC$  と  $BD$  の交点を  $E$  とする。また、 $E$  を通り辺  $BC$  と平行な直線と辺  $AB$  との交点を  $F$  とする。



次の(1), (2)の問いに答えなさい。

- (1)  $\triangle ACD$  の  $\triangle EBF$  であることを証明しなさい。
- (2)  $AC$  が円  $O$  の直径で、 $OA = 6 \text{ cm}$ ,  $BC = 3 \text{ cm}$ ,  $CE = 2 \text{ cm}$  のとき、
  - (ア)  $AB$  の長さを求めなさい。
  - (イ)  $BF$  の長さを求めなさい。
  - (ウ)  $\triangle ACD$  の面積を求めなさい。

6

図1のように、1辺の長さが1 cm の正方形のカードをすき間なく並べて順番に図形を作る。段の数は、順に1段ずつ増やし、一番下の段のカードの枚数は、順に2枚ずつ増やす。

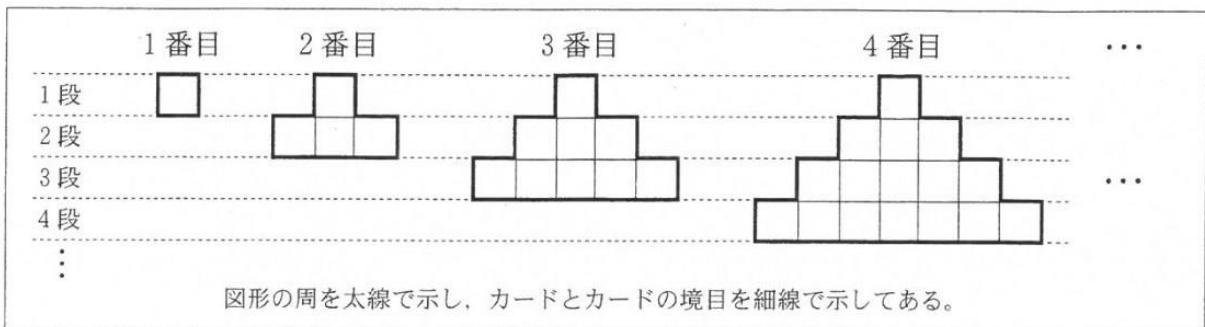


図1

次の(1)~(4)の問いに答えなさい。

- (1) 5番目の図形について、
- (ア) 一番下の段のカードの枚数を求めなさい。
- (イ) 周の長さを求めなさい。
- (2)  $n$ 番目の図形について、
- (ア) 一番下の段のカードの枚数を、 $n$ を使った式で表しなさい。
- (イ) 周の長さを、 $n$ を使った式で表しなさい。
- (3) 次の文章は、カードの総数について、花子さんの考えをまとめたものである。
- に  $n$  を使った式を当てはまるように書きなさい。

3番目の図形のカードの総数は、数えると9枚である。図2のように、3番目の図形と、それをひっくり返した図形を組み合わせた図形を作り、計算で求めることもできる。図2の図形では、カードが6枚ずつ3段あるから、総数は18枚である。よって、3番目の図形のカードの総数は9枚である。

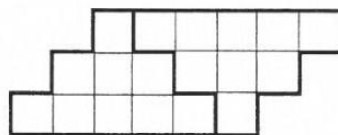


図2

同じように考えると、 $n$ 番目の図形のカードの総数は、 枚となる。

- (4) カードとカードの境目の長さの和は、3番目の図形では10 cm である。 $n$ 番目の図形では何 cm であるかを求めなさい。

学 力 検 査 問 題

英 語

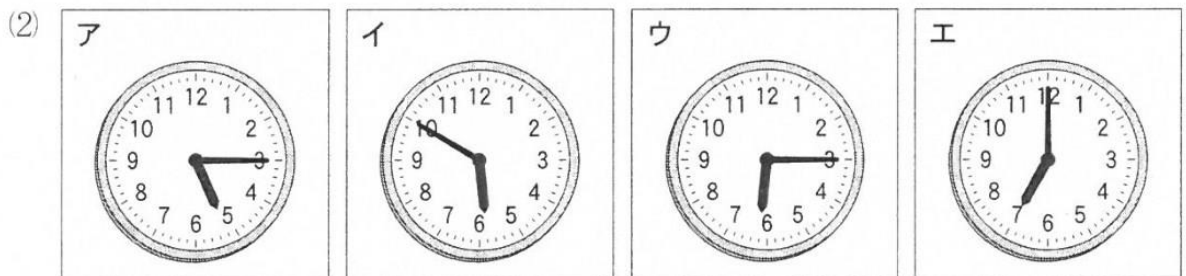
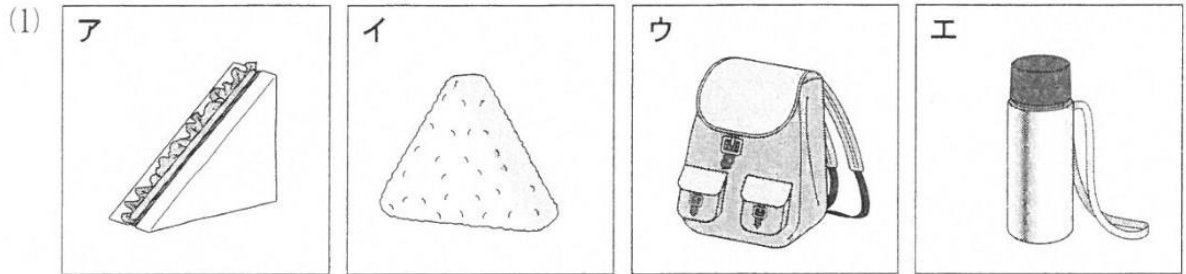
注 意

- 1 指示があるまでは、検査問題を開いてはいけません。
- 2 検査問題は表紙を除いて7ページで、問題は  から  まであります。
- 3 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。

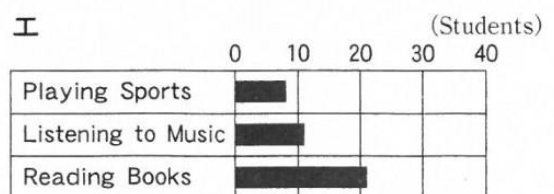
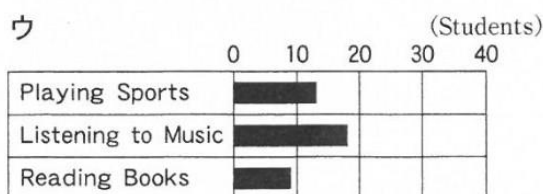
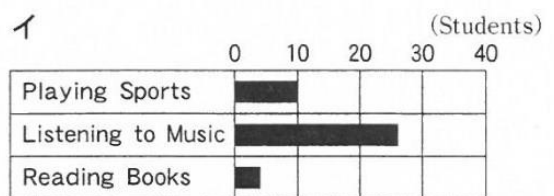
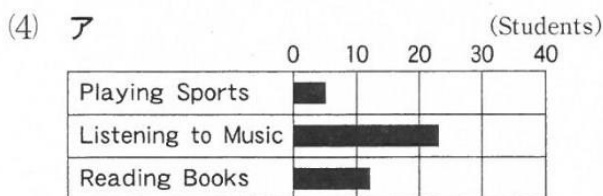
1 放送を聞いて答える問題

1 これから短い英文を読みます。英文は(1)~(5)まで五つあります。それぞれの英文を読む前に、日本語で内容に関する質問をします。その質問に対する答えとして最も適切なものを、ア~エの中から一つずつ選び、その符号を書きなさい。

なお、英文については2回ずつ読みます。



- (3)
- ア Let's go there next Monday.
  - イ Of course, you can.
  - ウ I'll go there with you.
  - エ Will you join us?



(5)

<p><b>MESSAGE</b></p> <p>To Paul</p> <hr/> <p>John wants to change the plan.</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p><b>ア</b></p> <p>① Saturday morning → Sunday afternoon</p> <p>② John will call you later.</p>	<p><b>イ</b></p> <p>① Saturday afternoon → Sunday morning</p> <p>② Call John later.</p>
	<p><b>ウ</b></p> <p>① Saturday afternoon → Sunday morning</p> <p>② John will call you later.</p>	<p><b>エ</b></p> <p>① Sunday afternoon → Saturday morning</p> <p>② Call John later.</p>

2 これから読む英文は、ブラウン先生（Ms. Brown）が、英語キャンプ（English Camp）に参加している生徒に、1日の予定について説明しているときのものです。この英文を聞いて、(1)、(2)の問いに答えなさい。なお、英文は2回読みます。

英文を聞く前に、まず、(1)、(2)の問いを読みなさい。

(1) 次の①～③に対する答えを、ブラウン先生の説明の内容に即して、英語で書きなさい。ただし、解答用紙の\_\_\_\_\_の部分には1語ずつ書くこと。

- ① How will the students be able to learn English in the music class?  
 答え They will be able to learn English by \_\_\_\_\_ English songs.
- ② If the students want to make robots, where should they go?  
 答え They should go to the \_\_\_\_\_ room.
- ③ What can the students learn in the world history class?  
 答え They can learn history and traditional \_\_\_\_\_.

(2) ブラウン先生の説明の内容に合っているものを、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

- ア The students will have lunch together in the garden at one o'clock.
- イ The students can join five different classes in the program.
- ウ The students can use Japanese if they have any questions.
- エ The students will make short speeches in English at the end of the program.

2 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の会話の(① )、(② )に入れるのに最も適切な英語を、1語ずつ書きなさい。  
ただし、( )内に示されている文字で書き始め、その文字も含めて答えること。

Mary : What subject do you like, Taku?

Taku : My (①f ) subject is Japanese. I also like calligraphy.

Mary : I like calligraphy, too! I came to Japan two years ago and I've studied it  
(②s ) then. It's very difficult for me, but I really enjoy studying it.

Taku : That's nice.

2 次の会話の  に入れるのに最も適切なものを、ア～エの中から一つ選び、その  
符号を書きなさい。

(昼休みの教室で)

Akiko : You don't look good, Mike. Are you all right?

Mike : I feel very sick today.

Akiko : That's too bad. Maybe you have a cold.

Mike : Thank you, Akiko. I will.

ア You should go home now.

イ I have a cold, too.

ウ We can have fun together.

エ You must not go to the hospital.

3 次の英文は、ある地域のサッカークラブの案内です。案内の内容として最も適切なものを、ア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

City Soccer Club for Students

Let's play soccer together! The motto of our club is to enjoy playing soccer and make friends! You don't need any experience. We practice from 8:00 a.m. to 11:00 a.m. on weekends at City Park. If you would like to practice soccer with us, please call us first. Our office phone number is 1234-5678.

ア Winning soccer games is the most important thing in the club.

イ You have to be good at playing soccer to join the club.

ウ Members of the club practice soccer after school every day at City Park.

エ You need to call the club's office first if you want to join the club.



- 3 次の英文は、真紀（Maki）が宇宙食（space foods）について、インターネットで調べて表（Table）を作り、英語の授業で発表したときのものです。1～3の問いに答えなさい。

Many astronauts from different countries have worked together on the ISS. I was interested in space foods that they ate there. Please look at the table. In 2003, space foods were made only in two countries: America and Russia. One hundred and eighty-one kinds of space foods were made in America. One hundred and fifteen kinds of space foods were made in Russia. No space foods were made in Japan, and Japanese foods were not on the food menu of the ISS. So Japanese astronauts ( ① ) in space.



JAXA wanted Japanese astronauts to enjoy Japanese foods and relax in space. Then JAXA decided to start a project that made Japanese space foods for Japanese astronauts. But making Japanese space foods was very difficult. JAXA had to prove that the space foods were safe to eat and good for the health of astronauts. JAXA tried their best, and finally twenty-eight kinds of Japanese space foods were on the food menu of the ISS in 2007.

When you look at the numbers in 2003 and 2007 in the table, you can see that the number became larger in America. The number didn't change in Russia. The number in Japan was still very small in 2007. But I hear that JAXA had thirty-three kinds of Japanese space foods in 2018. I also hear that Japanese space foods are very popular among foreign astronauts because they are delicious and good for their health. I hope more kinds of Japanese space foods will be on the ISS food menu in the future. Then many astronauts from other countries can enjoy more Japanese foods in space.

(注) ISS：国際宇宙ステーション JAXA：宇宙航空研究開発機構 project：計画 prove：証明する

- 1 本文中の( ① )に入れるのに最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

ア could not eat Japanese foods      イ could work hard with other astronauts  
ウ could enjoy staying longer      エ could not find space foods made in America

- 2 真紀が発表のときに見せた表として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

ア	イ	ウ	エ																																																												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">Table</th></tr> <tr><th></th><th>2003</th><th>2007</th></tr> <tr><td>America</td><td>181</td><td>199</td></tr> <tr><td>Russia</td><td>150</td><td>150</td></tr> <tr><td>Japan</td><td>28</td><td>28</td></tr> </table>	Table				2003	2007	America	181	199	Russia	150	150	Japan	28	28	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">Table</th></tr> <tr><th></th><th>2003</th><th>2007</th></tr> <tr><td>America</td><td>181</td><td>199</td></tr> <tr><td>Russia</td><td>115</td><td>199</td></tr> <tr><td>Japan</td><td>0</td><td>28</td></tr> </table>	Table				2003	2007	America	181	199	Russia	115	199	Japan	0	28	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">Table</th></tr> <tr><th></th><th>2003</th><th>2007</th></tr> <tr><td>America</td><td>181</td><td>199</td></tr> <tr><td>Russia</td><td>115</td><td>115</td></tr> <tr><td>Japan</td><td>0</td><td>28</td></tr> </table>	Table				2003	2007	America	181	199	Russia	115	115	Japan	0	28	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">Table</th></tr> <tr><th></th><th>2003</th><th>2007</th></tr> <tr><td>America</td><td>181</td><td>165</td></tr> <tr><td>Russia</td><td>115</td><td>115</td></tr> <tr><td>Japan</td><td>0</td><td>28</td></tr> </table>	Table				2003	2007	America	181	165	Russia	115	115	Japan	0	28
Table																																																															
	2003	2007																																																													
America	181	199																																																													
Russia	150	150																																																													
Japan	28	28																																																													
Table																																																															
	2003	2007																																																													
America	181	199																																																													
Russia	115	199																																																													
Japan	0	28																																																													
Table																																																															
	2003	2007																																																													
America	181	199																																																													
Russia	115	115																																																													
Japan	0	28																																																													
Table																																																															
	2003	2007																																																													
America	181	165																																																													
Russia	115	115																																																													
Japan	0	28																																																													

- 3 本文の内容に合っているものを、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

ア Maki talked about how many astronauts worked on the ISS in 2003 and 2007.  
イ It was easy to make Japanese space foods in the project that JAXA started.  
ウ Japanese space foods are good for the health of astronauts but they are not popular among foreign astronauts.  
エ Maki wants many foreign astronauts to enjoy more kinds of Japanese space foods in the future.

4 次の英文は、中学生の沙希（Saki）が、「農業（farming）と私の夢」というタイトルで、英語の授業でスピーチをしたときのものです。1～8の問いに答えなさい。

I think that farming is very important for our lives and it is a wonderful job. There are two people who gave me chances to think about becoming a farmer in the future. They are my grandmother and Mr. Watanabe. They taught me a lot of things. Today, I would like to talk about them.

First, I will talk about my grandmother. I respect her because she is the first person who taught me about farming. She grows carrots, onions, tomatoes and eggplants.

They are so delicious. Every summer, I visit her and grow tomatoes and eggplants with her. I enjoy helping her work.

One day, I asked her, “Have you ever thought about quitting farming?” She always worries about the ( ① ) because rain, snow, or strong wind sometimes damages the vegetables. And there are many things to do to grow vegetables. Sometimes it looks too hard. Then she smiled and answered, “No, I have never thought about quitting it. Every day, I enjoy taking care of my vegetables. They are like my children. So I talk to them and hear their voices. Even vegetables know how much I love them. I believe this.” I felt that she loved farming so much. She also said, “I met a lot of people who grew vegetables and we became good friends. We always help each other and enjoy talking.” Then she said to me, “Why don’t you become a farmer? You will feel happy when people enjoy eating the vegetables you grow.” Because of her, I became interested in becoming a farmer.

Next, I will talk about Mr. Watanabe. He visited my class as a special teacher last year. I think some of you may remember him. He told us about his job. He grows many kinds of vegetables. In the class, he asked, “How many people want to be a farmer in this class?” A few students raised their hands. He said, “I know that there are not many young people who want to become farmers. So today, I want to tell you that farming is a great job.” He smiled and said, “The vegetables I grow go to stores, and finally go to your houses. Some of you may eat them.” He kept talking about his job. “I also export my vegetables to foreign countries. I am proud that ( ② ). People from other countries sometimes visit me to learn how to grow vegetables. They often ask me, ‘What is the most important thing to grow delicious vegetables?’ I always answer that a warm heart is the most important. If you take care of your vegetables with a warm heart, they will become beautiful and delicious.  But you will feel happy when your vegetables grow very well.” At the end of the class, he said, “My vegetables know how much I love them.” I was surprised to hear these words. I remembered that my grandmother said ③ the same thing. And he said, “I want you to visit me and experience farming with me. If you experience farming, you can understand that farming is a wonderful job.” His story impressed me. Then I decided to become a farmer in the future.

Now, I’m thinking about visiting Mr. Watanabe to learn more about farming. In the future, I will grow many kinds of delicious vegetables like my grandmother and Mr. Watanabe. I hope to see people’s happy faces with my vegetables. Thank you for listening.

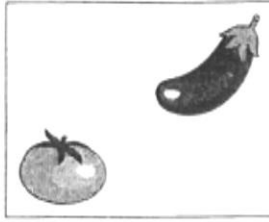
(注) respect : 尊敬する    quit : やめる    damage : 被害を与える    vegetable : 野菜    export : 輸出する

- 1 沙希がおばあさんと、毎年夏に育てている野菜を正しく表しているものを、本文の内容に即して、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

ア



イ



ウ



エ



- 2 本文中の( ① )に入れるのに最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

ア weather

イ world

ウ holidays

エ health

- 3 本文中の( ② )に入れるのに最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

ア vegetables from Japan are too expensive for foreign people to buy

イ people in Japan like to eat many kinds of vegetables

ウ vegetables from other countries are very popular in Japan

エ people in other countries also enjoy eating vegetables from Japan

- 4 本文中の下線部③が示す、沙希が思い出したおばあさんの言葉として、最も適切な1文を、本文中から8語で抜き出して書きなさい。ただし、解答用紙の\_\_\_\_\_の部分には1語ずつ書くこと。

- 5 次の英文を入れるのに最も適切な箇所を、本文中の ア ~ ウ の中から一つ選び、その符号を書きなさい。

It takes a lot of time and effort to grow vegetables.

- 6 次の質問に対する答えを、本文の内容に即して、英語で書きなさい。ただし、解答用紙の\_\_\_\_\_の部分には1語ずつ書くこと。

(1) Has Saki's grandmother ever thought about quitting farming?

(2) What did Mr. Watanabe want the students in Saki's class to do?

- 7 本文の内容に合っているものを、次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

ア Saki's grandmother told Saki that growing delicious vegetables was very easy.

イ Saki's grandmother and Mr. Watanabe made Saki interested in becoming a farmer.

ウ Saki found that Mr. Watanabe bought a lot of vegetables from foreign countries.

エ Saki visited Mr. Watanabe and learned more about farming from him.

- 8 次の英文は、沙希のスピーチを聞いて、ALT(外国語指導助手)が書いたコメントの一部です。(④ )、(⑤ )に入れるのに適切な英語を、本文中から抜き出して1語ずつ書きなさい。ただし、( )内に示されている文字で書き始め、その文字も含めて答えること。

Thank you for your wonderful speech. My father is also a farmer in my country and takes care of vegetables. When you were talking about your grandmother and Mr. Watanabe, I remembered my father's words. He often said, "When people eat my vegetables, they show their happy (④f ). I love to see them." I believe that people feel my father's (⑤w ) heart from his vegetables.

5 次の1, 2の会話について, それぞれの[ ]内の語を正しく並べかえて, 英文を完成させなさい。ただし, 解答用紙の\_\_\_\_\_の部分には1語ずつ書くこと。

1 (放課後の教室で)

Tom : I hear next Sunday is Ken's birthday.

Kumi : You're right. Taro and I are going to have a birthday party for him. Can you join us?

Tom : Of course. Do you have any [ him / make / to / ideas / happy ]?

Kumi : Yes. We will make a special cake for him.

Tom : That sounds great!

2 (昼休みの教室で)

Miki : My best friend, Tomoko, feels very sad because she couldn't play well in the basketball game last Sunday. Is there anything I can do for her?

John : Well, do you know my friend Takashi? He's good at playing basketball.

Miki : Oh, I didn't know he's a good basketball player.

John : You should [ give / to / him / her / ask ] some advice.

Miki : That's a good idea. I'll do that.

6 あなたは, 自分の関心のあることについて英語の授業で発表することになり, 次のメモを作成しました。メモをもとに発表原稿を完成させなさい。発表原稿の①, ②には, それぞれメモの【I】に即して, 適切な英語を書きなさい。また, ③には, メモの【II】について, あなたの考えを英語で書きなさい。ただし, ③は, メモの【I】に書かれていない内容であること。

<メモ>

【I】英語力を伸ばす方法

- ・毎日英語の本を読む
- ・英語学習のラジオを聞く
- ・英語で手紙を書く
- ・機会があれば, 外国人と英語で話す

【II】英語を使うとできること

- ・ \_\_\_\_\_ あなたの考え



<発表原稿>

I'm going to tell you how we can improve our English.

I think it is important ① \_\_\_\_\_ every day. Listening to radio programs for learning English is good. Writing letters in English is another good way. We should ② \_\_\_\_\_ when we have a chance.

If we use English, we can do many things. For example, ③ \_\_\_\_\_ .

What do you think about my ideas?

(放送原稿)

放送を聞いて答える問題

放送を聞いて答える問題 1

これから短い英文を読みます。英文は(1)から(5)まで五つあります。それぞれの英文を読む前に、日本語で内容に関する質問をします。その質問に対する答えとして最も適切なものを、アからエの中から一つずつ選び、その符号を書きなさい。

なお、英文については2回ずつ読みます。

- (1) これから読む英文は、ある物についての説明です。何についての説明をしているのでしょうか。

This is very popular in Japan. You can take it anywhere. It's easy to make. You can put anything you want to eat in it. It's made of rice.

- (2) これから読む英文は、トム (Tom) とトムの母親との会話です。トムが、普段、朝起きる時刻は何時でしょうか。

Mother: Tom, you go on a school trip tomorrow, right? What time do you have to get to school?

Tom: I have to get there at seven. So I want to get up at five fifteen in the morning.

Mother: Oh, OK. But can you get up so early? You usually get up one hour later than that time.

Tom: It will be no problem.

- (3) これから読む英文は、由美 (Yumi) と留学生のマーク (Mark) との会話です。その会話の中で、マークがひとこと付け加えようとすると、どの表現が最も適切でしょうか。なお、マークがひとこと付け加えるところで、チャイムが鳴ります。

Yumi: What are you going to do this weekend, Mark?

Mark: Well, I don't have any plans yet, Yumi.

Yumi: I'm going to Midori Park with my friends. It has a Japanese garden with many beautiful flowers. Why don't you join us?

Mark: That sounds great. (チャイムの音)

- (4) これから読む英文は、中学生の健 (Ken) がクラスメイトにアンケートを行った結果をグラフにまとめ、英語の授業で発表したときのものです。健が発表のときに見せたグラフはどれでしょうか。

I wanted to know what my classmates like to do in their free time. So, I asked forty students in my class about it. Now, look at this. Listening to music is the most popular. More than 20 students listen to music in their free time. I was surprised to know that reading books is more popular than playing sports.

- (5) これから読む英文は、ジョン (John) と優子 (Yuko) との電話での会話です。優子がジョンから頼まれた伝言の内容を正しく表しているものはどれでしょうか。

John: Hello, this is John speaking. May I speak to Paul?

Yuko: Hi, John. This is Yuko speaking. Sorry, he is out now.

John: I see. Can you give him a message?

Yuko: Sure.

John: We were planning to play tennis on Saturday afternoon, but I have to go to work then. So, I'd like to change the plan. If it's OK, I want to play tennis on Sunday morning. Please tell him to call me later.

Yuko: OK, John.

放送を聞いて答える問題 2

これから読む英文は、ブラウン先生 (Ms. Brown) が、英語キャンプ (English Camp) に参加している生徒に、1日の予定について説明しているときのものです。この英文を聞いて、(1)、(2)の問いに答えなさい。なお、英文は2回読みます。

英文を聞く前に、まず、(1)、(2)の問いを読みなさい。

では、始めます。

Welcome to English Camp. I'm Laura Brown. Please call me Ms. Brown. First of all, I'd like to tell you about today's program.

First, you have a music class in the morning. It will start at ten o'clock in the music hall. You will be able to learn English by singing English songs. Then, we have lunch together at noon. Let's meet in the garden in front of this building.

In the afternoon, we have two different classes from one o'clock --- the science class in the science room, and the world history class in the library. In the science class, you can enjoy making your own robot. In the world history class, you can learn not only history but also traditional culture. You can choose one class which you would like to join.

At the end of today's program, you will make short English speeches about English Camp. Please come back to this room at three o'clock. I hope you will have a great time in each class today. If you have any questions, please ask any teachers. OK?

Finally, I want you to remember one important rule: speak only in English during this event. I'm sure that your English will improve today. Please do your best and have fun!

学 力 検 査 問 題

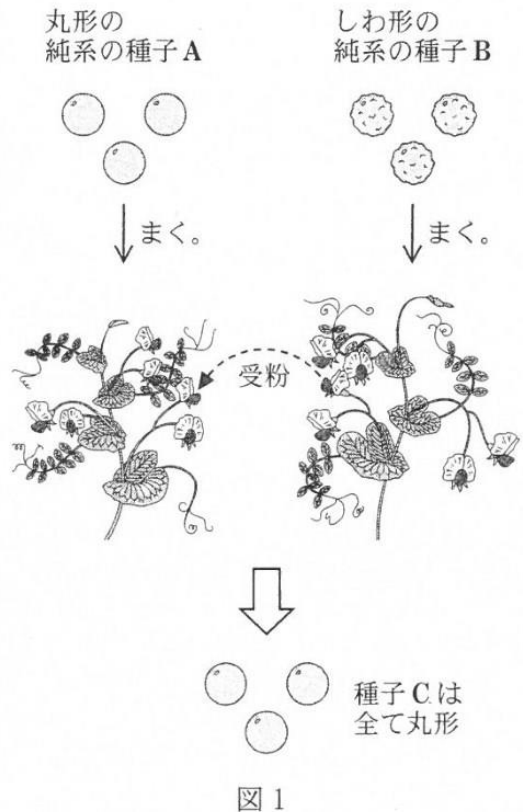
理 科

注 意

- 1 指示があるまでは、検査問題を開いてはいけません。
- 2 検査問題は表紙を除いて6ページで、問題は  から  まであります。
- 3 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。

1 1～4について、それぞれの問いに答えなさい。

1 エンドウを用いて、遺伝の規則性を調べる実験を行った。図1のように、丸形の純系の種子Aを育てたエンドウの花に、しわ形の純系の種子Bを育てたエンドウの花粉を受粉させた。こうしてできた種子Cは全て丸形になった。



(1) 生殖細胞がつくられるとき、減数分裂が行われ、対になっている遺伝子は分かれて別々の生殖細胞に入る。この法則を何というか。言葉で書きなさい。

(2) 図1の種子A～Cの中から2つの種子を選び、育てた。その2つを交配させ、できた種子の数を数えたところ、丸形の種子の数としわ形の種子の数は、ほぼ同数であった。選んだ2つの種子の組み合わせとして最も適切なものを、ア～オから1つ選び、符号で書きなさい。

- ア AとA      イ AとC      ウ BとB      エ BとC      オ CとC

2 表は、硝酸カリウムと塩化ナトリウムの溶解度(g/水 100 g)をまとめたものである。

水の温度[°C]	0	10	20	40	60	80
硝酸カリウム	13.3	22.0	31.6	63.9	109.2	168.8
塩化ナトリウム	37.6	37.7	37.8	38.3	39.0	40.0

表

(1) 水に溶けた硝酸カリウムと塩化ナトリウムのうち、再結晶によって取り出しやすいのはどちらか。言葉で書きなさい。

(2) 60℃の硝酸カリウムの飽和水溶液 100 g を 20℃ まで冷やしたときに出てきた結晶をろ過した。ろ過した後の水溶液の質量パーセント濃度は約何%か。ア～エから最も適切なものを1つ選び、符号で書きなさい。

- ア 約 24 %      イ 約 32 %      ウ 約 37 %      エ 約 78 %

3 図2は、ある地震について、地震が起こる直前の3時15分5秒から3時15分30秒までの、3地点における地震計の記録をまとめたものである。図2の●は、各地点で初期微動と主要動が始まったそれぞれの時刻を表している。

(1) この地震が発生した時刻は、何時何分何秒か。

(2) 図2の3地点とは別の地点では、初期微動継続時間が9秒であった。この地点は、震源から約何km離れているか。ア～エから最も適切なものを1つ選び、符号で書きなさい。

ア 約30km    イ 約50km  
ウ 約60km    エ 約80km

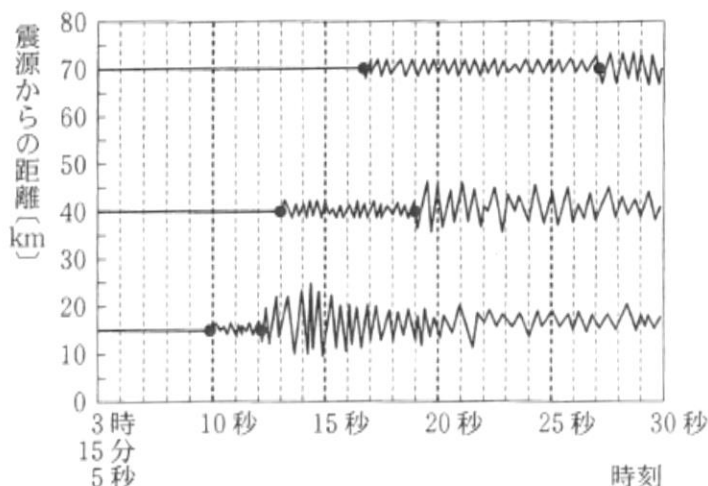


図2

4 手回し発電機 a と手回し発電機 b を用いて、図3のように回路を作り、実験を行った。a のハンドルを、電流の大きさが 0.7 A になるように速さを調整して 20 回転させると、b のハンドルは 15 回転した。このとき、電圧の大きさは 5.0 V で、a のハンドルを 20 回転させるのに 10 秒かかった。次に、a と b を入れかえ、同様の実験を行うと、同じ結果になった。このことから、a と b は同じ性能であることが分かった。

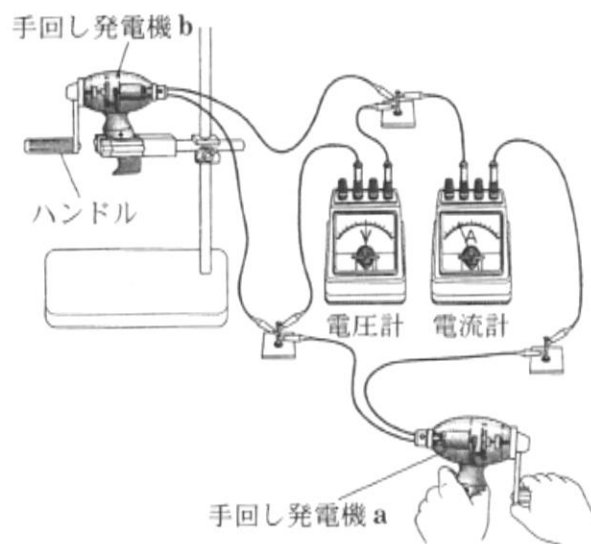


図3

(1) 実験で、a のハンドルを 20 回転させたとき、a が発電した電気エネルギーの大きさは何 J か。

(2) 実験で、a のハンドルを回転させた数よりも、b のハンドルが回転した数が少なくなった理由として最も適切なものを、ア～ウから 1 つ選び、符号で書きなさい。

ア a のハンドルを回転させたときの運動エネルギーと、熱や音などのエネルギーとが、b のハンドルを回転させる運動エネルギーに変換されたから。

イ a のハンドルを回転させたときの運動エネルギーの全てが、b のハンドルを回転させる運動エネルギーに変換されたから。

ウ a のハンドルを回転させたときの運動エネルギーが、b のハンドルを回転させる運動エネルギーだけでなく、熱や音などのエネルギーにも変換されたから。



2 身近な植物を用いて、観察と実験1, 2を行った。1~6の問いに答えなさい。

〔観察〕 ツバキの葉をなるべく薄く切って切片を作り、スライドガラスの上に置き、プレパラートを作成した。顕微鏡で葉の断面のつくりを観察すると、葉の表側に比べて裏側の方が気孔の数が多いたことが分かり、細胞の中にはたくさんの緑色の粒が見られた。図1は、そのスケッチである。

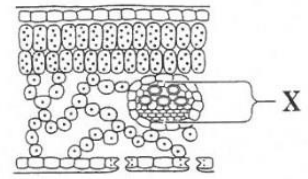


図1

〔実験1〕 プラスチックの板に両面テープで塩化コバルト紙を貼ったものを2枚作り、図2のように、塩化コバルト紙を内側にして、1枚のサクラの葉をはさんだ。5分後に、塩化コバルト紙の色の変化を見たところ、葉の表側に付けた塩化コバルト紙よりも、葉の裏側に付けた塩化コバルト紙の方が桃色に変化した部分が多かった。

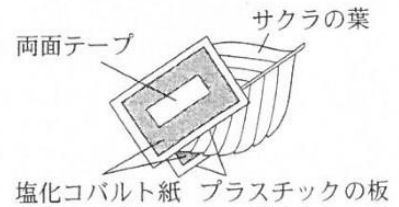


図2

〔実験2〕 葉の大きさや枚数がほぼ同じである4本のサクラの枝A~Dを用意した。Aは何も処理せず、Bは葉の裏側にワセリンを塗った。Cは葉の表側にワセリンを塗り、Dは葉を全てとった。図3のように、水を入れた水槽の中で、Aの茎とシリコンチューブを空気が入らないようにつなぎ、全体を持ち上げてみて水が出ないことを確認した。B~Dについても同じ処理を行った。次に、図4のように、バットに置き、20分ほど後にシリコンチューブ内の水の量の変化を調べた。その結果、Bと比べてAやCの方が減った水の量が多かった。また、Dは水の量がほとんど変わらなかった。

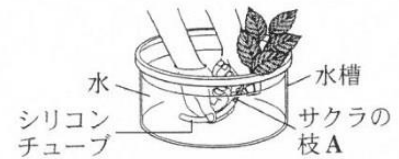


図3

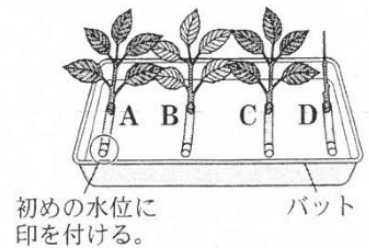


図4

- 1 観察で、葉の細胞の中に見られた緑色の粒を何というか。言葉で書きなさい。
- 2 図1のXの部分には、水や肥料分、養分などの通る管が集まっている。この管の集まりを何というか。言葉で書きなさい。
- 3 次の  に当てはまる最も適切なものを、ア~エから1つ選び、符号で書きなさい。

観察と実験1で、葉の裏側の方が気孔の数が多く、塩化コバルト紙の色の変化した部分が多かったことから、葉の裏側の方が  ということが分かった。

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| ア さかんに光合成が行われる | イ さかんに二酸化炭素がとりこまれる |
| ウ さかんに吸水が行われる  | エ さかんに蒸散が行われる      |

- 4 実験2で、葉にワセリンを塗る目的を、「気孔」という言葉を用いて簡潔に書きなさい。
- 5 実験2で、AとDの結果を比較すると、どのようなことが分かるか。ア~エから最も適切なものを1つ選び、符号で書きなさい。

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| ア 葉が吸水に関係する。  | イ 主に葉の表側が吸水に関係する。 |
| ウ 葉は吸水に関係しない。 | エ 主に葉の裏側が吸水に関係する。 |

- 6 観察、実験1及び実験2の結果から、どのようなことが分かるか。ア~エから最も適切なものを1つ選び、符号で書きなさい。

- |                                 |
|---------------------------------|
| ア 葉で光合成が行われると、気孔から二酸化炭素がとりこまれる。 |
| イ 葉で光合成が行われると、気孔から二酸化炭素が放出される。  |
| ウ 気孔で蒸散が行われると、吸水が起こる。           |
| エ 気孔で蒸散が行われると、吸水が抑えられる。         |



4 ある年の5月16日、校庭で気象を観測し、調査を行った。1～6の問いに答えなさい。  
 [観測] 午前9時に校庭で空を見渡したところ、雲量は9であり、雨は降っていないかった。同時に気温、湿度、風向、風力も観測した。表は、その結果をまとめたものである。  
 [調査] インターネットを使って、天気図を調べた。図1は、5月16日午前9時の天気図である。

月日	5月16日
時刻	午前9時
雲量	9
気温(°C)	19.7
湿度[%]	52
風向	東南東
風力	3

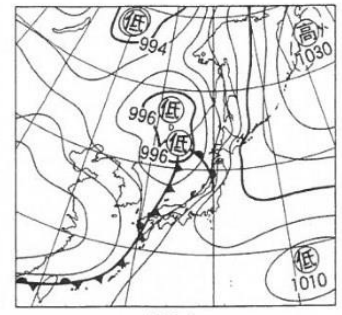


表 図1

- 観測結果から、午前9時の天気、風向、風力を表す天気図記号をかきなさい。
- 図2は、気温と飽和水蒸気量との関係を表したグラフである。観測結果から、午前9時の露点は約何°Cか。ア～オから最も適切なものを1つ選び、符号で書きなさい。  
 ア 約9°C                      イ 約11°C                      ウ 約13°C  
 エ 約15°C                      オ 約17°C
- 午前9時の気象衛星の雲画像として最も適切なものを、ア～エから1つ選び、符号で書きなさい。

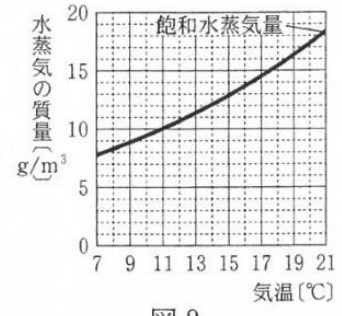
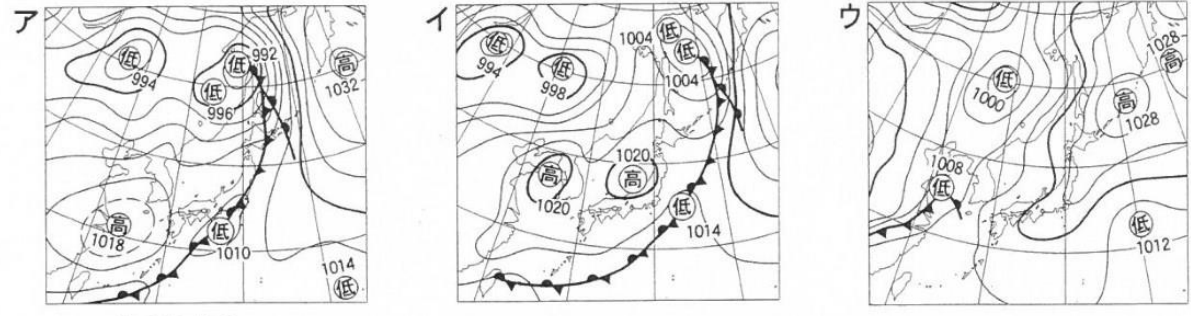


図2

著作権保護の観点に基づき、  
掲載を差し控えさせていただきます。

4 次のア～ウは、同じ年の5月15日、17日、18日のいずれかの日の午前9時の天気図である。日付の早いものから順に並べ、符号で書きなさい。



5 次の [ ] の(1)～(3)に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

温帯低気圧は、発達すると前線が長くなり、  
 [ ] (1) 前線は [ ] (2) 前線より移動する  
 速度が速いので、図3のように追いついて重なり合  
 り合って [ ] (3) 前線となる。

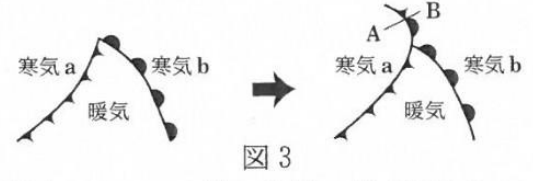
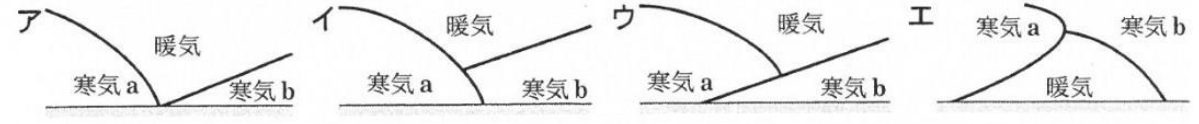


図3

6 図3で、寒気 a の温度が寒気 b の温度より低い場合、A—B間の前線の模式図として最も適切なものを、ア～エから1つ選び、符号で書きなさい。ア～エの模式図の太線(—)は、前線面を表している。



5 ばねばかりを用いて、作業1～5の手順で実験を行った。1～6の問いに答えなさい。ただし、実験で力の矢印をかくときは、1Nを5cmの長さとした。

〔実験〕

作業1…図1のように、1本のばねばかりで輪ゴムに付けた金属の輪を1Nで引き、輪の中心O点をかく。

作業2…図2のように、2本のばねばかりで角度をつけて輪ゴムをO点まで引き、それぞれのばねばかりに付けた金属の輪の中心A点、B点をかく。また、それぞれのばねばかりの値を記録する。

作業3…図3のように、1本のばねばかりが金属の輪を1Nで引く力 $F_1$ の矢印をかき、輪ゴムが金属の輪を引く力 $F_2$ の矢印をかく。

作業4…作業2で記録した値に合わせて、図3のように、O点からA点の向きに力Aの矢印をかき、O点からB点の向きに力Bの矢印をかく。

作業5…作業2、4を角度を変えて行い、力の関係を調べる。

1 力にはどのような働きがあるか。ア～エから適切なものを全て選び、符号で書きなさい。

- ア 物体の形を変える働き
- イ 物体を支える働き
- ウ 物体の質量を変える働き
- エ 物体の運動の状態を変える働き

2 図3で、力 $F_1$ と力 $F_2$ はつり合っている。物体に働く力がつり合っているとき、静止している物体は静止し続け、運動している物体は等速直線運動を続ける。このような法則を何というか。言葉で書きなさい。

3 図3の力Bの大きさは0.8Nであった。力Bの矢印の長さは何cmか。

4 力Aと力Bの間の角度がどのような場合でも、力 $F_1$ が力Aと力Bを合わせた力であるといえる理由として最も適切なものを、ア～エから1つ選び、符号で書きなさい。

- ア 力 $F_1$ は、力Aと力Bの間の角の二等分線上にあるから。
- イ 力 $F_1$ は、力Aと力Bを2辺とする平行四辺形の対角線になっているから。
- ウ 力 $F_1$ は、力Aと力Bを合わせた力と作用・反作用の関係になっているから。
- エ 力 $F_1$ の大きさは、力Aと力Bの大きさを足したものと同じになるから。

5 力A、力B、力 $F_1$ の大きさが全て1Nのとき、力Aと力Bの間の角度は何度か。0°から180°の範囲で書きなさい。

6 図4のように、ひもと定滑車を天井に固定し、動滑車を用いて、荷物を持ち上げる装置を作った。質量8.0kgの荷物がPの高さにあるとき、手がひもを引く力を力 $F_3$ とする。次に、質量8.0kgの荷物をQの高さまで持ち上げて静止させた。このとき、手がひもを引く力を力 $F_4$ とする。力 $F_3$ と力 $F_4$ の大きさとして最も適切なものを、ア～エから1つ選び、符号で書きなさい。ただし、ひもや滑車の質量、摩擦は考えないものとし、100gの物体に働く重力の大きさを1Nとする。

- ア 力 $F_3$ と力 $F_4$ の大きさは、ともに80Nである。
- イ 力 $F_3$ と力 $F_4$ の大きさは、ともに40Nである。
- ウ 力 $F_3$ の大きさは、力 $F_4$ の大きさより大きい。
- エ 力 $F_3$ の大きさは、力 $F_4$ の大きさより小さい。

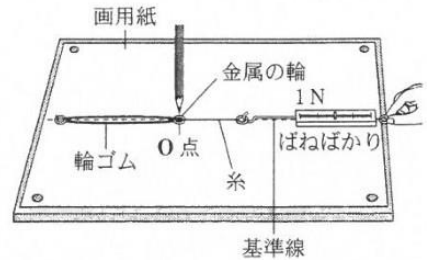


図1

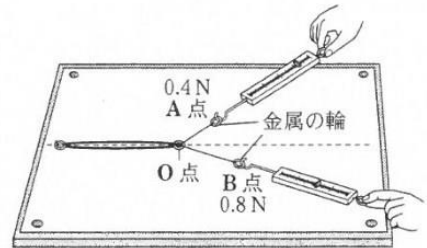


図2

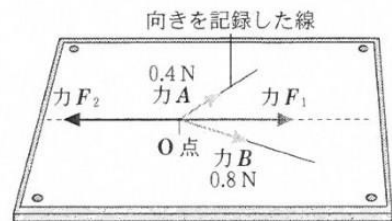


図3

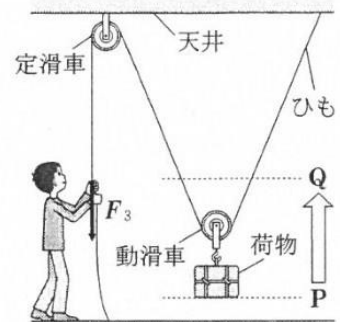


図4

学 力 検 査 問 題


社 会

注 意

- 1 指示があるまでは、検査問題を開いてはいけません。
- 2 検査問題は表紙を除いて6ページで、問題は  から  まであります。
- 3 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。

1 あみさんは、歴史の授業で興味をもった日本の都市の歴史について調べ、まとめを書いた。1～11の問いに答えなさい。

[あみさんのまとめ]

<p><b>奈良</b> 7世紀頃から①<u>国家による支配の仕組み</u>が作られ始め、710年には、奈良盆地の北部に、唐の都の長安(西安)になった <b>a</b> が、律令国家の新しい都として造られた。 <b>b</b> と光明皇后は、仏教の力に頼って国家を守ろうと考え、国ごとに国分寺と国分尼寺を、都には東大寺を建てた。資料1は、東大寺の正倉院である。この中におさめられている宝物には、 <b>b</b> が使用した道具や楽器などが含まれている。</p>	<p>著作権保護の観点に基づき、掲載を差し控させていただきます。</p>	<p><b>京都</b> 8世紀の末に都は京都に移され、源頼朝が鎌倉に幕府を開くまで、京都は政治の中心であった。武士の政権である鎌倉幕府は、承久の乱の後、京都に <b>c</b> を置いて朝廷を監視した。 14世紀に鎌倉幕府は滅び、新たな幕府が京都に開かれた。資料2は、足利義満が京都に造った花の御所と呼ばれた邸宅をえがいたものである。この邸宅は応仁の乱で焼失した。②この乱をきっかけに将軍は権力を失い、下剋上の風潮が広がった。</p> <p style="text-align: right;">[資料2]</p> 
<p><b>大阪</b> ③<u>織田信長</u>の後継者争いに勝利した豊臣秀吉は、大阪を直接支配した。資料3は、秀吉が築いた大阪城をえがいたものである。 江戸幕府も大阪を直接に支配した。第5代将軍の徳川綱吉の頃、京都や大阪を中心とする上方では、 <b>d</b> など、経済力をもった町人をにない手とする文化が栄えた。その後、幕府の力が衰える中、1837年には、元大阪町奉行所の役人で陽明学者の <b>e</b> が反乱を起こし、米や金をききんで苦しむ人々に分けようとした。</p>	<p>著作権保護の観点に基づき、掲載を差し控させていただきます。</p>	<p><b>東京</b> 明治政府は、江戸を東京に改称し、④<u>中央集権国家を造り上げるための政策</u>を行った。⑤<u>日清戦争後</u>になると、日本国民の間にはロシアへの対抗心が高まった。1904年に起きた日露戦争では、日本はポーツマス条約で賠償金を得られず、東京では暴動が起きた。 大正時代に起きた関東大震災は、都市改造のきっかけにもなり、東京は近代的な都市に生まれ変わった。⑥1964年には、戦後の復興を経て、資料4のように<u>東京オリンピック・パラリンピック</u>が開かれた。</p>

1 下線①について、次のア～ウの出来事を、年代の古い順に並べ、符号で書きなさい。

- ア 中大兄皇子らが、大化の改新と呼ばれる新しい支配の仕組みを作る改革を行った。
- イ 大宝律令が作られ、全国を支配する仕組みが細かく定められた。
- ウ 聖徳太子が、大王(天皇)を中心とする政治制度を整えようとした。

2 **a** に当てはまる都の名を、漢字で書きなさい。

3 **b** に当てはまる人物を、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

- ア 推古天皇      イ 天武天皇      ウ 聖武天皇      エ 桓武天皇

4 **c** に当てはまる機関の名を書きなさい。

5 次の文は、下線②の頃のヨーロッパ人のアジア進出と日本の様子について説明したものである。**I**、**II** に当てはまる言葉の正しい組み合わせを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

- ア I = コロンブス      II = スペイン
- イ I = コロンブス      II = ポルトガル
- ウ I = バスコ・ダ・ガマ      II = スペイン
- エ I = バスコ・ダ・ガマ      II = ポルトガル

15世紀末には **I** の船隊がインドに到達し、ヨーロッパとインドが初めて海路で直接つながった。その後、16世紀中頃には **II** 人を乗せた船が種子島(鹿児島県)に流れ着き、日本に鉄砲が伝えられた。鉄砲は戦国大名に注目され、日本各地に広まった。

6 資料5は、下線③が出した法令の一部を要約したものである。Ⅲに当てはまる、土倉や酒屋、商人や手工業者などが、同業者ごとに作った団体を意味する言葉を書きなさい。

[資料5]

安土城下の町中に対する定め  
一 この安土の町は楽市としたので、いろいろなⅢは廃止し、さまざまな税や労役は免除する。

7 Ⅳに当てはまることばを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

- ア 観阿弥・世阿弥親子が能を完成させる  
イ 尾形光琳が装飾画を完成させる  
ウ 葛飾北斎が優れた風景画をえがく  
エ 運慶が金剛力士像を制作する

8 Ⅴに当てはまる人物の名を書きなさい。

9 下線④について、次のⅥ、Ⅶに当てはまる言葉の正しい組み合わせを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

中央集権国家を造り上げることを目指す明治政府は、1869年、藩主に土地と人民を政府に返させた。しかし、改革の効果はあまり上がらなかった。そこで政府は、1871年にⅥを行い、各県や府を、Ⅶに治めさせた。

- ア Ⅵ=廃藩置県 Ⅶ=政府が任命した役人  
イ Ⅵ=廃藩置県 Ⅶ=元の藩主  
ウ Ⅵ=版籍奉還 Ⅶ=政府が任命した役人  
エ Ⅵ=版籍奉還 Ⅶ=元の藩主

10 下線⑤について、次のⅧに当てはまることばを、「清」の言葉を用いて、簡潔に書きなさい。

資料6は、下関条約の主な内容である。この条約が結ばれた直後に、ロシアはドイツやフランスとともに、日本に対して、獲得した遼東半島をⅧことを勧告してきた。対抗できる力のなかった日本は、これを受け入れ、遼東半島周辺の清の領土は略地図のようになった。その後、ロシアは遼東半島を自らの勢力範囲としていった。

[資料6]

- ・清は、朝鮮の独立を認める。
- ・清は、遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本に譲り渡す。
- ・清は、賠償金2億両(テール：当時の日本円で約3億1000万円)を支払う。

[略地図]

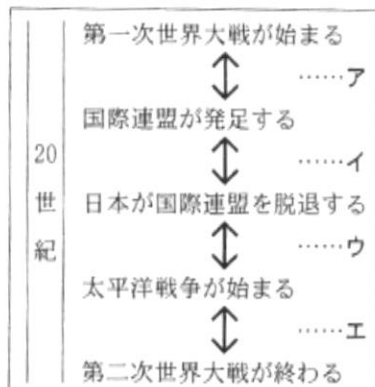


11 下線⑥について、次の文を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

A 日中戦争によって開催されなかった1940年の東京大会から24年後、B 高度経済成長下の東京で、アジア最初のオリンピック・パラリンピックが開かれた。

(1) 下線Aが始まったのは略年表のア～エのどの期間か。一つ選び、符号で書きなさい。

[略年表]



(2) 次のア～ウは、下線Bの前後の出来事である。これらの出来事を、年代の古い順に並べ、符号で書きなさい。

- ア 公害問題への対応を迫られた政府が、環境庁(現在の環境省)を設置した。  
イ GHQの占領政策によって、日本の経済を支配してきた財閥が解体された。  
ウ 経済成長を促進するため、池田勇人内閣が所得倍増をスローガンに掲げた。

2

さとみさんとあつしさんは、地理の授業で興味をもった地域についてテーマを決めて調べ、まとめを書いた。1～10の問いに答えなさい。

**[さとみさんのまとめ]**

《テーマ》「中国や東南アジアの国々が急速に成長したのはなぜだろうか」

《中国の工業化について分かったこと》

1980年代から、中国は工業化のための改革を本格的に進め、沿岸部のシェンチェン(深圳)などに、**a**と呼ばれる、海外の資本や技術を導入するために開放した地域を設けた。中国は、外国企業を積極的に受け入れ、巨大な人口を背景とした安くて豊富な労働力を活用し、「世界の工場」としての地位を築いていった。経済成長を支えた①中国の人口は、2050年には表1のように推移すると予測されている。

《東南アジアの農村の近代化について分かったこと》

東南アジアでは、大きな川の流域などで稲作が盛んである。同じ土地で年に2回米を作る**b**ができる地域もある。以前は人々が牛や馬を使って農作業をしていたため、農村の人口密度は**c**状態が続いていたが、1960年代に入り、機械化が進むと、農村の必要な労働力や人口密度が変化していった。

《今後調べてみたいこと》

マレーシアやインドネシアなどで、植民地の時代に天然ゴムやコーヒーなどを大規模に栽培するために造られたプランテーション(大農園)は、第二次世界大戦後、現地の人々によって経営されるようになった。同じように植民地の時代を経験している②アフリカや南アメリカの国々の農業の様子について、調べてみたい。

- a** に当てはまる言葉を書きなさい。
- 下線①について、表1は、世界全体、中国、日本、オーストラリア、アメリカの2050年の予測人口(指数)と2017年の人口密度を示したものであり、ア～エは、中国、日本、オーストラリア、アメリカのいずれかである。中国に当たるものを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。
- b** , **c** に当てはまる言葉の正しい組み合わせを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。  
ア b=二毛作 c=高い イ b=二毛作 c=低い  
ウ b=二期作 c=高い エ b=二期作 c=低い
- 下線②について、(1)～(3)に答えなさい。

[表1] 2050年の予測人口(指数)と2017年の人口密度

	2050年の予測人口 (2017年を100としたときの指数)	2017年の人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
世界全体	129	55
ア	85	342
イ	97	147
ウ	120	33
エ	136	3

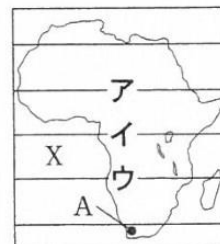
注：2050年の人口は、現在までの社会情勢の変化などを前提として推計したものである。  
(「世界国勢図会 2017/18年版」より作成)

- 略地図1, 2において、赤道を示す線はどれか。ア～カから二つ選び、符号で書きなさい。
- さとみさんは、資料1のように東京と略地図1のA地点との距離を求めた。この手順で求めたときの距離を書きなさい。ただし、北極と南極との間の距離を20,000kmとする。

[資料1] さとみさんが東京とA地点との距離を求めると行った作業

手順1 地球儀上の北極と南極を最短コースとなるように紙テープで結び、それを20等分して目盛りを付けた。  
手順2 紙テープを地球儀上の東京とA地点に当て、目盛りを読み取ると14目盛りであった。

[略地図1]



[略地図2]



注：略地図1, 2には赤道と赤道から15度ごとの緯線が示してある。

- 略地図1, 2のXの大洋の名を、漢字で書きなさい。



[あつしさんのまとめ]

《テーマ》「北海道地方で、自然環境を生かした産業や生活・文化が発達してきたのはなぜだろうか」

《開発の歴史について分かったこと》

北海道は農耕しにくい気候や地形であったが、明治時代になると政府は北海道に **d** という役所を置き、屯田兵らによる大規模な開墾などを行った。その拠点となった札幌市は、北海道の中心として成長し、現在では、③第三次産業が盛んである。

[資料 2]



《自然環境について分かったこと》

北海道内では、南北にのびる山地を境にして、気候に違いが見られる。太平洋側の沿岸地域では、夏に濃霧が発生することがある。その理由として、沿岸地域へ吹く季節風の温度変化に着目すると、夏の湿った季節風が **e**、濃霧が発生すると考えられる。

《農業について分かったこと》

表 2 は、北海道と栃木県の農業の様子についてまとめたものである。栃木県と同様に北海道でも、④土地の特色や大消費地との距離に適応した農業が行われていることが分かる。十勝平野では、表 2 から分かる北海道の特徴をもつ農業が盛んである。

[表 2] 北海道と栃木県の農業の比較

	I	II
耕地に占める <b>Y</b> の割合(%)	80.6	21.9
生乳のうち加工用(バターやチーズなど)に出荷される割合(%)	83.6	0.4

(平成 29 年牛乳乳製品統計などより作成)

《今後調べてみたいこと》

北海道の東部から南西部にかけて、多くの火山があり、有珠山など一部は現在も活発に活動している。観光地として有名な洞爺湖は、⑤火山の噴火で火山灰や溶岩が噴き出した跡がくぼんでできた地形に、水がたまってできたものである。火山を観光資源として利用しながら、⑥火山活動による被害から、北海道の人々が人命や生活などをどのように守ろうとしているのかについて、調べてみたい。

5 **d** に当てはまる言葉を書きなさい。

6 下線③について、第三次産業を、ア～オから全て選び、符号で書きなさい。

ア 卸売業    イ 林業    ウ 製造業    エ 医療    オ 鉱業

7 **e** に当てはまることばを、資料 2 を参考にして、「親潮」の言葉を用いて、簡潔に書きなさい。

8 下線④について、表 2 の I, II は、北海道、栃木県のいずれかを示す。I と **Y** に当てはまる言葉の正しい組み合わせを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

ア I = 北海道 Y = 畑    イ I = 北海道 Y = 水田  
ウ I = 栃木県 Y = 畑    エ I = 栃木県 Y = 水田

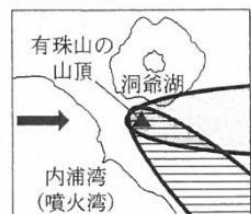
9 下線⑤について、このような地形を何というか、書きなさい。

10 下線⑥について、あつしさんは資料 3 を作成し、メモを書いた。次の **Z** に当てはまる方位を、八方位で書きなさい。

[あつしさんのメモ]

資料 3 は、地形図と方位が同じになるように作成した有珠山の防災マップ(ハザードマップ)である。この地域の上空の風は、**→** の向きで吹くことが最も多い。そのため、もし、山頂付近で噴火が起ると、降灰の可能性が最も高いのは、**□** で示された区域になる。しかし、上空の風が **Z** の風向きで吹くこともあり、その場合、降灰の可能性が最も高くなるのは、**▨** で示された区域となる。こういったことも、避難場所を考える要素の一つである。

[資料 3]



- 3 ゆきさんは、公民の授業で学習した内容についてまとめを書いた。まとめ1～4は、その一部である。1～12の問いに答えなさい。

【ゆきさんのまとめ1】「個人の尊重と日本国憲法」

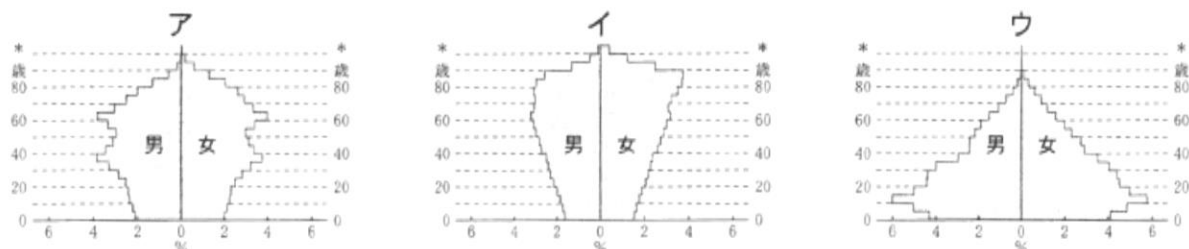
私たちが自由に人間らしく生きていくことができるように、①基本的人権が日本国憲法で保障されていることを学んだ。人権の保障は、一人一人の個性を尊重し、かけがえのない人間として扱うという「個人の尊重」の原理に基づいている。一方で、日本国憲法第12条では、国民に対して、自由や権利の濫用を認めず、常にそれらを  のために利用する責任があると定め、人権は、人々が同じ社会の中で生活していく必要から制限される場合があることが分かった。また、②社会の変化に伴って、今後、どのような人権上の課題が生まれていくのかについて、考えることが大切であることが分かった。

- 1 下線①について、基本的人権の一つである社会権を行使した具体例として最も適切なものを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

- ア 集会を開いて演説をする。                      イ 条例の制定を求めて署名を集める。  
ウ 国に情報の開示を請求する。                  エ 団結して行動できるように労働組合を作る。

- 2  に当てはまる言葉を書きなさい。

- 3 ゆきさんは、下線②について調べ、日本の1960年、2010年、2060年の人口ピラミッド(年齢別人口割合)を作成した。次のア～ウは、そのいずれかである。これらの人口ピラミッドを、年代の古い順に並べ、符号で書きなさい。



注：\*は100歳以上を示す。  
注：2060年の人口は、現在までの社会情勢の変化などを前提として推計したものである。  
(「日本の将来推計人口(平成29年推計)」などより作成)

【ゆきさんのまとめ2】「国の政治の仕組みと国民の政治参加」

国の政治の仕組みと、選挙をはじめとする、政治に国民の意見を反映させるための様々な政治参加の方法を学んだ。日本の政治は、立法権をもつ③国会、行政権をもつ内閣、司法権をもつ④裁判所が互いに抑制し合い、均衡を保つことによって、権力の行き過ぎを防いでいることが分かった。また、政治参加の中でも重要なのが選挙であり、日本の選挙権年齢は、2016年6月以降、満  歳以上となったことが分かった。

- 4 下線③について、表は、衆議院の召集日と会期をまとめたものである。表の期間中、衆議院の解散に伴う総選挙は何回行われたか、数字で書きなさい。

- 5 下線④について、次の  に当てはまることながらを、「憲法」、「最終決定権」の二つの言葉を用いて、簡潔に書きなさい。

裁判所は、下級裁判所と最高裁判所に分かれている。最高裁判所は、法律などが  をもっているの、「憲法の番人」と呼ばれている。

- 6  に当てはまる数字を書きなさい。

【表】 衆議院の召集日と会期(平成24～29年)

衆議院の召集日	会期
平成24年 1月24日	常会
10月29日	臨時会
12月26日	特別会
平成25年 1月28日	常会
8月2日	臨時会
10月15日	臨時会
平成26年 1月24日	常会
9月29日	臨時会
12月24日	特別会
平成27年 1月26日	常会
平成28年 1月4日	常会
8月1日	臨時会
9月26日	臨時会
平成29年 1月20日	常会
9月28日	臨時会
11月1日	特別会

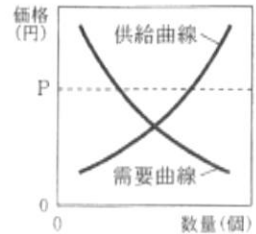
(衆議院ホームページより作成)

【ゆきさんのまとめ3】「市場経済と政府の役割」

⑤ 市場経済の仕組みと、市場経済における政府の役割について学んだ。政府の主な役割として、⑥ 税金などを財源に、社会資本や、公共サービスを提供すること、社会保障や雇用対策などを通じて、国内の経済格差を改善すること、歳入や歳出を通じて景気の安定を図ることの三つがあることが分かった。これら以外にも、政府は、独占や寡占の規制、消費者や⑦ 労働者の保護、環境保全などのルールを定め、民間企業に公正で安全な経済活動を促す役割も果たしていることが分かった。

7 下線⑤について、次の  ,  に当てはまる言葉の【グラフ1】正しい組み合わせを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

グラフ1は、ある商品の需要量、供給量、価格の関係を表している。価格がP円であるとき、需要量が供給量を  ので、一般に、この商品の価格は  する。



- ア b = 下回る c = 下落      イ b = 下回る c = 上昇  
ウ b = 上回る c = 下落      エ b = 上回る c = 上昇

8 下線⑥について、所得税には、所得が多くなればなるほど税率が高くなる仕組みが採られている。この課税の方法を何というか、書きなさい。

9 下線⑦について、次の  に当てはまる法律の名を、漢字で書きなさい。

労働三法の一つである  は、資料で示したような労働条件を具体的に定めることで、労働者の生活を守っている。

【資料】

- ・男女同一賃金
- ・労働時間は、週40時間、1日8時間以内
- ・少なくとも週1日の休日

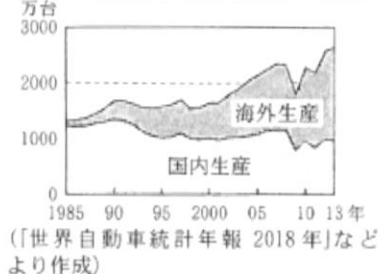
【ゆきさんのまとめ4】「地球社会と私たち」

現在では、貿易の自由化が進んだことなどによって、⑧ 経済のグローバル化が進展し、人や物、お金が国境を越えて活発に行き交うようになってきていることを学んだ。例えば、ヨーロッパ連合(EU)では、一部の加盟国は自国の通貨を廃止して共通通貨である  を導入し、ヨーロッパが一つの市場のようになっていたことが分かった。EUのように、経済、環境などの分野で、⑨ 同じ課題を抱えている国どうしが特定の地域でまとまりを作り、協調や協力を強めようとする動きは世界各地で見られることが分かった。

10 下線⑧について、次の  ,  に当てはまる言葉の正しい組み合わせを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

グラフ2から、日本の自動車メーカーは、自動車の生産拠点を変化させていったことが分かる。その理由の一つとして、グラフ3のように、ドルに対して円の価値が  なる傾向であったことが関係していると考えられる。この変化によって、日本国内での雇用が  ことにつながるなど、貿易や為替相場は、私たちの生活や日本経済に影響を与えている。

【グラフ2】日本の自動車メーカーの自動車生産台数の推移



【グラフ3】円とドルの為替相場(為替レート)の推移



- ア e = 低く f = 減る      イ e = 低く f = 増える  
ウ e = 高く f = 減る      エ e = 高く f = 増える

11  に当てはまる言葉を書きなさい。

12 下線⑨について、日本が加盟しているものを、ア～エから一つ選び、符号で書きなさい。

- ア NAFTA      イ APEC      ウ ASEAN      エ AU